

# TAKUの 我行我素

いつもみんなありがとう！



## 【4 WAYS】

いきなりで何なのだが、  
四道…連歌・俳諧における付合(つけあい)には、  
次の4つの方法があるそう。

添・随・放・逆  
つまり  
現状を維持する  
現状を改善する  
現状から離れる  
現状に逆らう  
の4つね。

それと非常に似たようなコトなんだけれども、  
俺は人間、コトに向き合った時の頑張り方にも、  
同じように次の4つのパターンがあると思っ  
ている。

### 1) 現状無視型

現状がどうたらしには目を向けず、  
何も考えず、ただがむしゃらに目の前のコトを  
頑張る人。

### 2) 現状放置型

現状をどうにか維持できるように、  
そのワクの中でひたすら頑張る人。

### 3) 現状改良型

現状のワクの中で、より良い方法はないかを考  
え、現状の改善をめざし頑張る人。

### 4) 現状革新型

現状のワクそのものにまず疑問を抱き、  
台無し覚悟で革新をめざし頑張る人。

まあ結論から言うと、組織にはどのタイプの人  
間も必要なので、自分がどのタイプであろうと、  
そのことを別にどうこう考える必要はない。  
それに、どのタイプにしても、結局頑張ってい  
るってことには変わりはないんだからね。

しかし問題は、相手を理解しようとするときに、  
相手のタイプが何であるかを考慮しないとい  
けないということかもね。

てゆかたぶん、タイプが違う相手を理解するこ  
とじたいがそもそも難しい問題だからね。

んで ちなみに俺はというと、どう考えても革  
新型なんです。何かを考えるときに、まず最  
初に固定概念を取り払いたがるからね。でも  
たぶん、周りから観たら予測不能かも。てゆか  
基本的に予定調和が嫌いなのもかもしれない。

だってさ、たとえば身近な例を上げるとするな  
らば…

銀蠅って昔は、あの時代に自分たちがかっこいいって思うことを何も考えずにやってたわけで。つまり、まだガキだった若者達が、当時の限られた狭い経験の中で、当時できる事を無邪気に楽しみながらあれこれやってたっていうか。で その結果、銀蠅っていうバンドのイメージとかサウンドとかが出来上がったわけね。

今思うと、素晴らしいって部分もあるし、逆にめっちゃ恥ずかしいって部分もある。

でもまあともかく、当時はそれがかっこよく思えていたってことが肝心。

でも不思議なもんで、時間がたってくるとね。世間や周りにはしかたないにしても、その本人達でさえ、銀蠅はこうだろう、ああだろう、こうだった、ああだったみたいな感覚で、かつての自分達のイメージにとらわれてしまうことってあるんですよ。

ホンネはこうなんだけど、きっと銀蠅のイメージってのはこうだから、こうしておくのが正解なのではあるまいか？的な思考。

つまり、そゆ系の発想を避けたいんだな基本俺は。

人は進歩もすれば、退化もする、知恵もつければ、老いもする。もちろん、ファンみんなだって同じだと思うし。

だって一緒に年齢を重ねてきてんだもんね。

だから、今後も一生、その時代時代に、自分達がかっこいいと思う感性を無邪気に楽しみながら表現していく。それが基本テーマだし、大切なんだと俺は思ってるんだ。

今の俺、今の嵐さん、今の翔くん、今の横浜銀蠅。そして、今後の俺、今後の嵐さん、今後の翔くん、今後の横浜銀蠅。

35周年を迎えて、色々なコトを考えながら、ふとこんなコトを思う今日この頃。

まだ内緒なんだけど、レコーディングとかしてま

すからね今(笑)

乞うご期待(^-^)

